

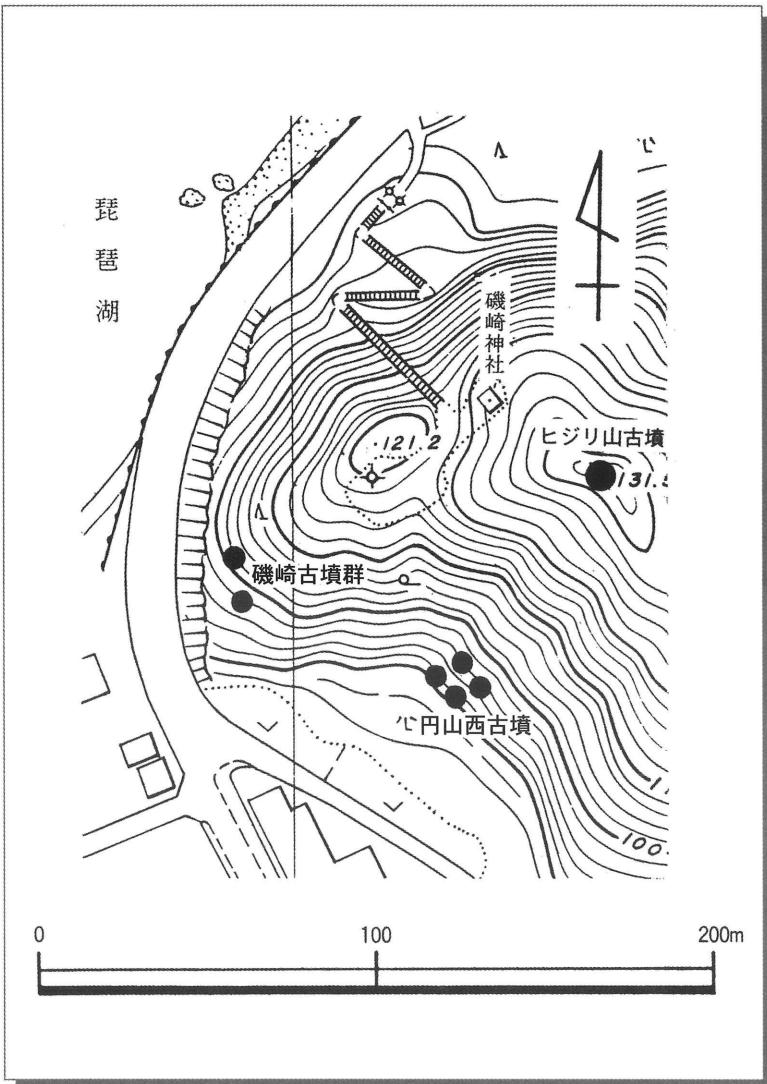
琵琶湖を望む

磯崎古墳群

いそ やま
磯山が琵琶湖に突き出した突端に位置する古墳群です。大正9年、湖岸に道路を開設したときに
まる やま にし
消滅しましたが、周辺にはヒジリ山古墳、神塚古墳、円山西古墳などがあつて古墳の密集地です。
道路工事の際に出土した遺物は磯崎神社に保管されており、『改訂近江国坂田郡誌』には6基から
くんじゅうふん
なる群集墳とされています。

昭和47年におこなわれた2号墳の発掘調査では、羨道の残存長4.9m、幅2.7m。玄室は長さ6.2m、
幅6.0mのほぼ正方形で、渡来系氏族の古墳群とされる大津市北郊の穴太野添古墳群・太鼓塚古墳群
などに類例があることから、この古墳も渡来系氏族との関係が考えられています。出土遺物中に漁
労の網に用いられた土錘があることや、琵琶湖に突出した立地などから、琵琶湖の湖上交通や漁業
とかかわった"海人"との関連が想定されています。

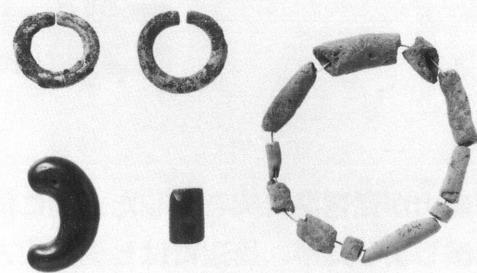




磯崎古墳群位置図



磯崎第2号墳石室実測図

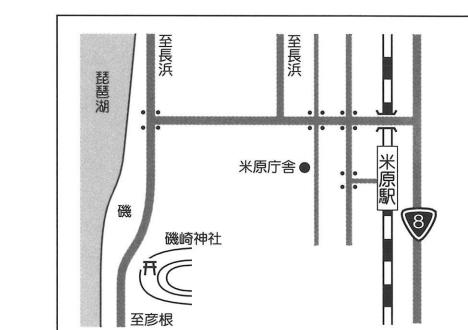


出土遺物



2号墳石室

磯崎神社に保管されている遺物には、**勾玉**、**管玉**、**銀環**、**鐵製直刀**、**須恵器坏身**・**坏蓋**・**高坏**・**提瓶**、**土錘**などがあります。



磯崎古墳群

- 所在地 滋賀県米原市磯
- アクセス JR米原駅下車。公共交通がないためタクシーまたは、市役所米原庁舎でレンタサイクル利用。
米原駅西口から庁舎まで徒歩10分。
庁舎からレンタサイクルで約15分。

米原市教育委員会

滋賀県米原市長岡1206番地 TEL.0749-55-8106
平成20年度 埋蔵文化財活用事業